

スポーツ歯学の臨床

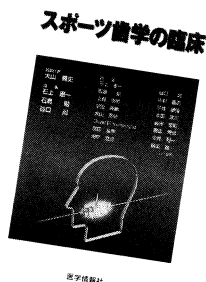
BOOKS

編集代表：大山喬史

発行：医学情報社

(TEL 03-5684-6811)

定価：10,000円（税別）



臨床に直結した スポーツ歯学を 分かりやすく解説

ここ数年、人々のスポーツと健康に対する関心は年々高まっている。スポーツ人口の増加に伴い、健康の維持、増進のために、さまざまな研究がなされ、医療面においても対応していく時代を迎えている。

スポーツ歯学は、比較的新しい分野ではあるが、多くの臨床家、研究者が、各自それぞれのスポーツに参加しているケースが多く、研究も充実し、成果が着実に蓄積されてきている学問である。

本書は臨床の場において、すぐ役立つ内容を念頭に、スポーツ歯学の知見と成果を解説したもので、臨床家だけでなく、研究者にとっても意義ある一冊である。まず総論にて、スポーツ歯学とは何か、定義、目的、歴史が分かりやすく記述しており、一読することで、スポーツ歯学の体系を把握することができる。

スポーツ歯学の目標として掲げられた、

- (1) スポーツによる国民の健康づくりをサポート
- (2) 顎口腔領域でのスポーツ外傷の予防
- (3) 競技力の維持、向上をサポート

の3つの項目は改めて認識させられた。

表題に「スポーツ歯学の臨床」とあるように臨床に具体的に結びつく点が多い。外傷の予防を目的としたマウスガード（以下MG）の研究報告、製作法に多くのページをさいている。特にMGの目的、効果、材料、咬合との関連など、詳しく書かれている。

MGの製作法に関しては、材料の異なる2種類の方法が、豊富な写真に、丁寧な説明を加え詳細に書かれていて、MGを製作したことのない歯科医師にも理解を得ることができる。MGに対して漠然とした概念しかなかった臨床家にも必ず具体的なイメージを結ぶことだろう。

後半は“口腔系機能と身体運動機能との関連の研究”について

書かれている。種々の生理学的な検証や、評価により咬合力と筋力の相関などが示されている。身体の複雑なメカニズムを、興味深く学ばせる論文となっている。

今まで、歯科医療は、口腔内の疾患を治療して、健康な状態に復する行為に邁進してきた訳であるが、それだけでなく、健康な人間も医療の対象として、健康のために関わっていくべき時代が到来しつつある。聞くところによると昨年の日本歯科医師会の代議員会にもスポーツデンティストの育成に係わる問題が数多く論議されたそうである。

スポーツ歯学が注目されている折、格好の入門書として『スポーツ歯学の臨床』を推奨する次第である。

（会誌編集委員・外山 泉）